

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年2月27日

団体名 三河わくわくコットンプロジェクト実行委員会

代表者 稲垣 光威

構成員 10 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

三河の伝統的な繊維業の大元となった木綿。綿の栽培や収穫を一年を通じて学ぶ。その間に種とりや染色、糸紡ぎ、織りの仕組みを学んでゆく

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
R6 5/6	悠紀の里 みのり農縁火田 (福岡町)	岡崎市民	37人	綿や繊維の歴史と学ぶ 火田にて綿の種まき
9/14	"	"	46人	天然染色、自然の草木を用い て布染めを学ぶ
11/3	"	"	47人	火田で収穫した綿花と種とり をして糸の紡ぎ方を学ぶ
R7 2/2	"	"	42人	前回系にいた綿糸で、簡易な 織り方で布作りを学ぶ

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。〈ex.自然環境〉

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

衣食住の基本である衣料の作り方を学びながら、三河エリアとりわけ岡崎市が果たしてきた歴史的な役割を実体験として学ぶことができた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

日本での綿と初めとした繊維製品の自給率がほぼ0%といわれる中、自分たちの手で布を作ることができるとして多くの市民や児童に伝えることができた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。